

IoT、AI を活用した空き情報の検知・解析・配信プラットフォームを提供する
「株式会社バカン」への出資について

2021年10月27日

JICベンチャー・グロース・インベストメンツ株式会社が運営する、JICベンチャー・グロース・ファンド1号投資事業有限責任組合は株式会社バカン（本社：東京都千代田区、代表取締役：河野剛進 / 以下、バカン）への出資を実行したことをお知らせいたします。

バカンは、IoT、AI を活用して、人やモノのあらゆる混雑・空き情報を収集・解析し配信するサービスを提供しています。独自のAIアルゴリズムとセンサーやカメラなどを組み合わせることで、レストラン街やカフェ、オフィス、トイレ、観光地、投票所といった日常空間から、避難所などの非日常空間に至るまで、多様な領域の空き情報をリアルタイムに可視化することができます。バカンのサービスは、これまで全国200以上の自治体や大型商業施設、オフィスビルなどに導入されています。

本投資の意義は、バカンを通じ、リアルタイムでの情報提供や多様なニーズへの対応がより拡充することで、Society5.0で提唱されるような、IoTによる人とモノの繋がり、及び人間中心の安心安全かつ効率的な社会の実現に貢献することです。

本投資資金により、バカンが事業基盤を強化し更なるスケールアップを行うことで、多くの産業におけるIoTソリューションのプラットフォームとしてのポジションを確立し、デジタルトランスフォーメーションの推進に貢献することを支援いたします。

記載されている情報は、発表日現在の情報です。予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

本件に関するお問い合わせ先

JICベンチャー・グロース・インベストメンツ株式会社

E-mail: info@j-vgi.co.jp